



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月13日

上場会社名 株式会社ヒューマンテクノロジーズ 上場取引所 東
コード番号 5621 URL <https://www.h-t.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 家崎 晃一
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理室 (氏名) 加藤 翼 TEL 03-4577-9600
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	5,509	24.2	1,070	19.1	1,076	19.9	780	18.3
2025年3月期第3四半期	4,436	21.0	898	125.7	898	137.3	659	195.3

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 802百万円 (19.7%) 2025年3月期第3四半期 670百万円 (189.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	81.36	—
2025年3月期第3四半期	68.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	6,214	5,037	81.1
2025年3月期	5,887	4,431	75.3

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 5,037百万円 2025年3月期 4,431百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	20.50	20.50
2026年3月期	—	0.00	—		
2026年3月期（予想）				28.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,265	20.0	1,285	38.1	1,285	37.5	888	35.6	92.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期3Q	9,593,200株	2025年3月期	9,593,200株
2026年3月期3Q	43株	2025年3月期	一株
2026年3月期3Q	9,593,168株	2025年3月期3Q	9,593,200株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緊迫化する世界情勢や資源・原材料価格上昇、円安進行や物価高騰、主要国の金融政策の動向や金利変動の影響など先行き不透明な状況が継続しました。

当社グループが提供するサービス領域においても、2024年4月に「働き方改革関連法」の適用猶予事業への上限規制の適用、同年10月には厚生年金保険法・健康保険法に基づく被用者保険の適用拡大が実施されるなど、法制度対応の重要性が増しています。さらに2025年4月より順次施行されている「改正育児・介護休業法」に基づき、看護休暇の対象拡大やテレワーク導入の努力義務化、育児休業取得状況の公表義務拡大への対応など、柔軟かつ緻密な労務管理体制の構築が求められています。

加えて、人的資本経営の深化に伴い、健康経営や安全管理に関する情報開示の質的向上が求められています。勤務実態の可視化やコンプライアンスの徹底、多様なワークスタイルの許容は、企業の競争力を左右する要素となっており、それらを支える客観的なエビデンスとしての勤怠データの価値は、これまで以上に高まっています。

このような環境下において、当社グループは「人時生産性をお客様と共に考える」を企業理念とし、「オペレーションからの解放と創造的業務への後押し」をミッションに掲げ、勤怠管理を中心に給与計算の自動化など業務全体の効率化支援に取り組んでいます。

企業にとって最も重要な経営資源は、「ヒト（人材）」と考えています。その「ヒト」の「時間」（人時）を管理するベースとなるのが「勤怠管理」であり、「人時生産性」を向上させることこそが、当社グループの使命であります。勤怠管理業務を、日々の煩雑なオペレーション業務から、「ヒト」に紐づく様々なデータを利活用できる創造的業務へと転換することを目指しております。

当第3四半期連結累計期間においても、新規案件は引き続きアナログ管理（紙やExcel）からの移行が中心となり、労務管理の高度化・効率化に対する需要と関心は高まりを見せています。このような市場環境の中、「KING OF TIME」は、一人あたり月額300円で人事労務、勤怠管理、給与計算までを一元的にカバーできる包括的なソリューションとして高く評価されております。企業の業務効率化と法制度対応の双方を実現できる点も支持され、新規導入件数は着実に増加いたしました。

2025年12月には「KING OF TIME 勤怠管理」をミイダス株式会社へOEM提供し、「ミイダス 勤怠管理」としてサービス提供を開始しました。採用「前」の応募から「後」の従業員育成・定着までの支援を強みに持つ同社との協業により、中小企業が直面する採用後の「勤怠管理」「業務効率化」まで一貫した業務支援を可能とする基盤構築に寄与いたします。勤怠管理業務を自動化・効率化することで、採用後の従業員マネジメント負担を軽減し、生産性の高い組織運営と人材活用の最適化を後押ししてまいります。

こうした導入拡大と利用の広がりを支えるため、導入後の定着と顧客満足度の向上に向け、サポート体制のさらなる拡充に取り組んでいます。有償サポートによる複雑な運用の最適化に加え、システム内での自己解決を促すナビゲーション機能の強化や、ユーザーインターフェースの改善を継続的に実施いたしました。これにより、導入初期のハードルを低減し、大規模ユーザーから小規模事業者まで、あらゆるお客様が迷わず運用できる環境づくりを推進しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高5,509,988千円（前年同期比24.2%増）、営業利益1,070,334千円（前年同期比19.1%増）、経常利益1,076,857千円（前年同期比19.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益780,453千円（前年同期比18.3%増）となりました。

なお、当社グループは勤怠管理SaaS事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は5,388,974千円となり、前連結会計年度末に比べ443,988千円増加いたしました。これは主に有価証券が698,563千円増加、金銭の信託が300,000千円増加、売掛金が123,014千円増加、現金及び預金が748,484千円減少したこと等によるものであります。固定資産は825,732千円となり、前連結会計年度末に比べ117,059千円減少いたしました。これは主に無形固定資産が71,856千円減少、投資その他の資産が60,674千円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、6,214,706千円となり、前連結会計年度末に比べ326,928千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,177,644千円となり、前連結会計年度末に比べ278,754千円減少いたしました。これは主に未払法人税等が226,315千円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、1,177,644千円となり、前連結会計年度末に比べ278,754千円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は5,037,062千円となり、前連結会計年度末に比べ605,682千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益780,453千円及び剰余金の配当196,660千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2025年5月15日の「2025年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、上記業績予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,974,081	3,225,597
売掛金	761,750	884,765
金銭の信託	—	300,000
有価証券	—	698,563
商品	37,346	43,519
前払費用	174,961	238,546
その他	4,565	8,138
貸倒引当金	△7,719	△10,156
流動資産合計	4,944,986	5,388,974
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	66,235	66,235
工具、器具及び備品	172,914	204,371
減価償却累計額	△147,345	△163,330
有形固定資産合計	91,803	107,275
無形固定資産		
ソフトウェア	454,134	381,775
その他	14,171	14,674
無形固定資産合計	468,306	396,449
投資その他の資産		
投資有価証券	845	845
長期前払費用	40,403	54,261
破産更生債権等	901	1,220
繰延税金資産	275,391	202,187
その他	66,041	64,711
貸倒引当金	△901	△1,220
投資その他の資産合計	382,681	322,006
固定資産合計	942,791	825,732
資産合計	5,887,778	6,214,706

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	152,506	190,513
未払金	148,496	33,796
未払費用	344,504	329,799
未払法人税等	286,178	59,863
契約負債	210,963	261,711
賞与引当金	118,197	91,117
その他	195,550	210,840
流動負債合計	1,456,398	1,177,644
負債合計	1,456,398	1,177,644
純資産の部		
株主資本		
資本金	860,661	860,661
資本剰余金	840,731	840,731
利益剰余金	2,708,073	3,291,865
自己株式	—	△93
株主資本合計	4,409,465	4,993,164
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	21,914	43,897
その他の包括利益累計額合計	21,914	43,897
純資産合計	4,431,379	5,037,062
負債純資産合計	5,887,778	6,214,706

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	4,436,657	5,509,988
売上原価	1,268,041	1,899,690
売上総利益	3,168,615	3,610,298
販売費及び一般管理費	2,269,716	2,539,963
営業利益	898,899	1,070,334
営業外収益		
受取利息	259	5,263
有価証券利息	—	2,233
補助金収入	1,028	229
固定資産売却益	—	181
償却債権取立益	—	1,081
その他	137	907
営業外収益合計	1,425	9,899
営業外費用		
支払利息	30	—
為替差損	1,724	3,376
固定資産除却損	453	—
営業外費用合計	2,208	3,376
経常利益	898,116	1,076,857
税金等調整前四半期純利益	898,116	1,076,857
法人税、住民税及び事業税	229,366	223,201
法人税等調整額	8,774	73,203
法人税等合計	238,141	296,404
四半期純利益	659,975	780,453
親会社株主に帰属する四半期純利益	659,975	780,453

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	659,975	780,453
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	10,275	21,983
その他の包括利益合計	10,275	21,983
四半期包括利益	670,250	802,436
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	670,250	802,436

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

当社グループは、勤怠管理SaaS事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

当社グループは、勤怠管理SaaS事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	24,716千円	97,253千円